


おおたけ市議会だより

OTAKE CITY 2018
(平成30年)

11

No.195

- 
- | | |
|------------------|-------|
| ◆第4回定例会 | 2ページ |
| ◆一般質問 | 4ページ |
| ◆陳情 / 請願 / 意見書 | 8ページ |
| ◆要望書・12月議会日程 | 10ページ |
| ◆審議結果表・議会日誌 | 11ページ |
| ◆議会報告書 | 12ページ |
| ◆スマイルインタビュー・あとがき | 14ページ |

第4回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●平成29年度大竹市一般会計補正予算(第4号)

Q 7月豪雨では、ダムへの流入雨量が洪水操作の範囲内に収まったが、それぞれの観測所の最大水位の数値が少しでも上がれば、被害が生じていたようにも思われる。弥栄ダムの現在の放流規程について問う。

A 弥栄ダムの最大放流は毎秒300m³となっている。ダムの流入量が毎秒2,600m³までであれば、毎秒300m³を継続しながら、最大でも毎秒600m³を放流できると規程がある。しかし、毎秒600m³を放流すれば、小川津観測所・両国橋観測所の避難判断水位(レベル3)を超える危険性がある。ダムへの流入量が毎秒2,600m³を超えると、貯水量が増加するため、流入量と同量を放流する規程となっている。そのような場合はすでに下流の水位が上昇し、洪水危険値を超えていると思われるため、避難していただく方法をとる。具体的に市では、警察・消防・市の広報車等で対象地域住民へ

避難を呼びかけることとなる。



豪雨により水位の上昇した小瀬川

Q 市道大迫谷尻線は現在、谷和から栗谷方面へ向かう道路について通行止めとなっているが、復旧工事の工期と開通時期について問う。また、広原地区の県道460号栗谷河津原線の通行止めに関して、広島県からの報告はないか問う。

A 大迫谷尻線の谷和から栗谷に向けては、国の災害査定を受けて事業の詳細を確定し、事業着手することとなるため、明確には示せないが、今年度内の開通を目指している。

県道460号栗谷河津原線については、広島県がすでに復旧に着手しており、終了時期は9月末の見込みではあるが、若干前後する可能性もある。

※委員会終了後に工期が変更され、終了時期は、12月末の見込み。

Q ブロック塀改修工事の対象が21か所となっている。市内にはまだ改修が必要であるブロック塀があると思うが、残りはいづら改修を見込んでいるのか問う。

A 基準に合致していないブロック塀は他にもあるが、既存の予算で対応できるもの、または、今年度・来年度予定している他の工事と絡めて改修できるブロック塀は今回補正予算に含めていない。

宮島競艇施行組合規約の変更について

解説 平成31年4月1日から、地方公営企業法の全部を適用するため、必要な変更を行うもの。

Q 企業団となれば企業長に権限が集中し、議会機能が損なわれ、歯止めが利かなくなるのではないか問う。

A 現在の管理者である廿日市市長が企業長に、副管理者である大竹市長が副企業長となるが、経営については変わることはない。公営企業法を適用した場合、財産取得などで、法の規定により議会の議決を必要としない部分はある。しかし、市の組織でいえば現在の水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業と同じ関係となるため、議会機能が損なわれるものではない。

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

第4回定例会は、平成30年9月6日～9月19日の14日間行われました。
 詳細については、平成30年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●「平成29年度大竹市工業用水
 道事業会計決算」・「平成29年度
 大竹市水道事業会計剰余金の処
 分及び決算」・「平成29年度大竹
 市公共下水道事業会計剰余金の
 処分及び決算」

Q 新町雨水排水ポンプ場について、
 放流先となる小瀬川の関係機関との
 協議状況について問う。

A また、平成29年12月議会で補正予
 算措置をした同ポンプ場の用地買収
 について、進捗状況を問う。

A 小瀬川への雨水の放流について、
 どのような方法、構造であれば認め
 られるのか、具体的な計画案を示す
 段階に至っておらず、太田川河川事
 務所等、関係機関との協議はできて
 いないが、計画案ができ次第、協議
 を進めていきたい。

また、用地買収については、昨年、
 補正予算措置の議決を得て交渉にあ
 たってきたが、現在のところ契約が
 できる状況には至っていない。引き
 続き、関係者との調整を行っていき
 たい。

●大竹市税条例等の一部改正に
 ついて

解説
 地方税法等の一部を改正する
 法律の施行に伴い、所要の整備
 を行うため、条例の一部を改正
 しようとするもの。

Q 今回の条例改正を受けて、所得
 税法との関連であるが、公的年金控
 除が一律10万円引き下げられるとの
 ことである。

A 公的年金収入がある方の介護保険
 料段階が変わることがないか、影響
 について問う。

A 介護保険料は、本人の収入や所
 得、本人及び世帯の市民税課税状況
 に応じて11段階に分かれている。6
 段階より上の、本人課税の方につい
 ては、法改正により1つ上の段階に
 位置づけられる場合があると考えて
 いる。

ただしこれは、平成33年度から適
 用されるものである。

Q 法改正による公的年金控除の引
 き下げは、介護保険事業計画が第7
 期から第8期にかわるタイミングと
 重なると思うが、介護保険料の負担

増加が見込まれる方について、国で
 負担の軽減に向けた取り組みはある
 のか問う。

A 現在のところ特に聞いている情
 報はない。第8期介護保険事業計画
 の初年度となるので、保険料改定の
 検討の際に、国による対応がなけれ
 ば、市としての対応を検討すること
 になる。

ただし、該当する方は所得の高い
 層の方であり、その負担を軽減する
 ことで全体の保険料を押し上げるこ
 とになるので、保険料水準がどうな
 るかを考えながら、対応を検討して
 いきたいと考えている。



●工事施行協定の締結について
 (大竹駅構内青木踏切改良工事)

Q 現在、工事対象箇所は通学路と
 なっている。工事期間中、子どもた
 ちは工事場所を通過して通学すること
 になると思うが、安全対策について
 問う。

A これから測量設計をしていくた
 め、詳細については今後、協議する
 ことになる。具体的な話はしていな
 いが、市としては通学時の安全対策
 等に留意し、通学に関する影響を最
 小限に抑えていきたいと考えている。

●その他の議案 3件

※採決の結果、すべての議案が
 原案のとおり可決



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決



賀屋 幸治

- 7月豪雨の冠水原因の究明について
- JR玖波駅東口側広場の整備について
- 小方まちづくりの今年度の進捗状況について

山本 孝三

- ダム放流による災害を防ぐために
- 米軍岩国基地の米軍機訓練について

大井 渉

- 栗谷小学校休校問題を問う

北地 範久

- 人口減対策について
- 動画を使った大竹市の情報発信について

西村 一啓

- 市域の安全、安心して暮らせるまちづくりについてお尋ね致します。

細川 雅子

- 第6次総合計画について
- 市民を大切にす行政の第一歩は、情報の開示と市民の思いを受け止めること。

末広 和基

- 内水治水レベル向上や有効な避難行動等への、地域自主防災力増強などについて伺います。
- 省庁の概算要求と地方自治の予算編成との関係性や活用性について伺います。
- 7月の豪雨被害内容と当面の被害軽減対策や防災事業について、国や県の施策や仕組みの活かし方を伺います。

問 JR玖波駅前（東口）には公共交通のバス停があり、時間帯のバスが交通障害になるため、駅前広場を整備してバス停の移設や公衆用トイレの設置を提案する。

JR玖波駅東口側広場の整備について

答 時間45mmの降雨と前後の比較的に強い雨で流下能力を超えたと考えます。潮遊池の直接排水を行うなど、合流管渠の排水能力が阻害されないよう、可能な範囲で対応しています。

問 7月豪雨で本町・白石地区で冠水被害が発生しました。この区域は時間雨量49.7mmまでは処理能力があるとされているが、冠水原因の究明と今後の対応を伺う。

7月豪雨の冠水原因の究明について



賀屋 幸治

答 民間開発と道の駅とでは事業の進め方が異なり決断に至っていません。新駅は概略案を示し協議していますが、大きな進捗はありません。

問 小方小中学校跡地活用策とJR新駅設置はセットで進めるべきと思うが、進捗状況を伺う。

小方まちづくりの今年度の進捗状況について



玖波駅前広場（グーグルマップより）

答 駅前広場の整備は、まちづくり構想等に基づいて行うものと考えており、必要性や実現性を考えながら構想等に反映すべきか検討します。



山本 孝三

ダム放流による住民犠牲を
なくすために

問 大竹市小瀬川流域には、目的・機能・管理の異なる渡ノ瀬・小瀬川・弥栄の三つのダムがあります。

今回のような災害危険状況のもと、人命尊重を第一に、放流時の住民への情報周知の徹底など、ダム放流規程の改善を求めべきではありませんか。

答 洪水時などのダム操作規程については、小瀬川水系3ダム会議や小瀬川減災対策協議会の中で、説明を受けたり意見交換を行ったりしています。住民への周知は、各ダム管理者による放流前のサイレン吹鳴、パトロール等のほか、避難情報発令基準に達する場合は、市から防災行政無線、防災メールでの通知や自治会長へ報告等を行っています。

岩国基地の米軍機訓練について

問 米軍機は、日米合意違反・岩国日米協議の確認事項無視を続け、騒音・事故・犯罪など住民の不安・心配を増幅させています。

その背景には、60年間、改定がされず国内法の適用を受けない、日米地位協定があり、抜本改定を求めるべきではないでしょうか。

答 日米地位協定は、全国知事会が日米両政府に対し見直しを提言しています。日米安全保障に関わる重大な事案であり、市長会等で取り上げるとしても、各市町と慎重に検討しなければならぬと考えます。



大井 渉

栗谷小学校の休校問題について問います

問 栗谷小学校休校問題については、地域の声、気持ちとして、中学校廃校、小学校休校と立て続けに地域コミュニティの拠点をなくすることになり、ネガティブな情報、負の感情、様々渦巻いています。小中学校充実検討委員会の提言に基づき、教育委員会として定めた「大竹市小・中学校充実のための基本方針」では栗谷小学校は存続です。

その都度、地域保護者や住民に説明してきましたか。教育関連法や、文部科学省の休校手続き等では、保護者や住民の理解を得なければなりません。栗谷地域が今後人口減少、高齢化、過疎化など生活の不安を少しでも解消するために、地域に向き栗谷まちづくりに向けた計画を策定し、住民に寄り添い続けることを切望します。

答 市長 栗谷地域は振興山村の指定を受けており、山村振興計画を策定し、農林業生産基盤の整備など3つの重点方針に沿って、交通施策など10項目の地域振興施策を展開しています。地域の思いを聞きながら支援をしたいと考えています。

教育長 説明会は、保護者対象に7回、地域対象に2回開催し、保護者からは「通学が心配」など、地域からは「学校を残したい」などのご意見がありました。教育委員会としては、このようなご意見について、今後協議してまいります。児童にとってより良い教育環境の必要性について、教育的観点から保護者や地域の皆様にご理解いただくよう粘り強く取り組みます。



栗谷小学校



北地 範久

人口減対策について

問 これから市長が4期目の市政を運営するにあたり、人口減少を少しでも解消するために、今後どのような施策に重点を置き市政を推進していくのか考えを伺う。

答 多くの市民の皆様と一緒に頑張ってつくり上げたわがまちプランの考え方を尊重しながら、安定して運営できる行政の仕組みづくり、将来の大竹を担う人づくり、住みたい、住んでよかったと感じるいいまち大竹づくりを、引き続き重点施策として推進していきます。

動画を使った大竹市の情報発信について

問 人口が減少する現状の中で、大竹市をもっとPRする必要があるのではないか。

動画をホームページに取り込むなど、大竹市の情報発信に動画を活用することについての考えを伺う。

答 情報発信の目的の一つは、大竹を愛する人づくりです。そのため、どのような媒体を用いた発信が有効かが問われます。大竹を愛する人を増やすため、工夫とアイデア、受け手の視点で考えることで、大竹の魅力を発信したいと思えます。



西村 一啓

市域の安全、安心して暮らせるまちづくりについて

問 中山間地域の高齢者及び地域住民の安全対策について、どのように取り組んでいるのか。

答 防災講習会や避難情報確認カードを配布して、災害時の行動や避難場所の確認、情報の確認方法等について、住民周知に努めています。

問 災害時の情報伝達と連絡システムの構築について、豪雨の中サイレン等が聞こえにくいとの問題に、どのように取り組むのか。

答 防災無線の内容は、防災メール等で確認でき、テレビ等でも情報を確認できます。双方向の連絡システムは、可能か検討したいと考えます。

問 中山間地域にあるダム安全管理と情報システムについて、ダムの管理と豪雨時の流入量と放流量の情報等、管理者側から市にどの様に情報提供され、また市民にどのように知らせているのか。

答 洪水調整基準到達により、毎時間放流量等の情報提供を受け自治会に提供します。また、ダム管理者は放流前のサイレンや広報車で周知します。



道路が陥没し、土砂が農水路を塞ぐ



細川 雅子

第6次総合計画について

問 地方自治法の義務規定が削除され、現在、総合計画の策定は地方自治体の判断にゆだねられています。

答 市長は次の総合計画の策定について、どのような手法とプロセスで今後の計画行政を進められるおつもりかお尋ねします。

問 わがまちプランと同様に、多くの方に市の将来像を描いていただき、その意見を参考にし、反映した計画となるよう努めます。12月定例会で策定の方針案の説明と補正予算の提案をした後、策定本部を設置する予定です。

「市民を大切に」について

問 市ホームページに市民の声を届けるコーナーがありますが、

他市を参考に改善してください。教育委員会においては「請願」の取扱規程を定める事も含めてお尋ねします。

情報の開示については、開示場所の工夫、開示方法の標準化など利用者視点での改善をお願いします。

答 市長 「メールによるお問い合わせ」と「市政への提言」の整理をしたいと思います。

情報公開コーナーにある行政文書や図書館の中の大竹市のコーナーにも置くことを検討します。また、ホームページへの掲載に努めます。

教育長 請願の取扱規程を設けることについては前向きに検討したいと思います。

ご利用ください	
▶	大竹市へのお問い合わせ
▶	市政への提言
▶	市役所案内
▶	公共交通機関のご案内
▶	施設を探す
▶	手続き簡単検索
▶	申請書ダウンロード
▶	電子申請
▶	大竹市例規集
▶	サイドマップ

市ホームページより



末広 和基

内水治水レベル向上や有効な避難行動等への、地域自主防災力増強などについて伺います。

問 内水治水能力の現状の実力値と当面の減災対策の可能性及び地域自主防災力増強の必要性についてお考えを伺います。

答 災害時に得た様々なデータを整理し、蓄積する仕組みや、自ら動いてくださる防災意識の向上に向け、被害地域の状況を分析し、発信する必要があります。

省庁の概算要求と地方自治の予算編成との関係性や活用性について伺います。

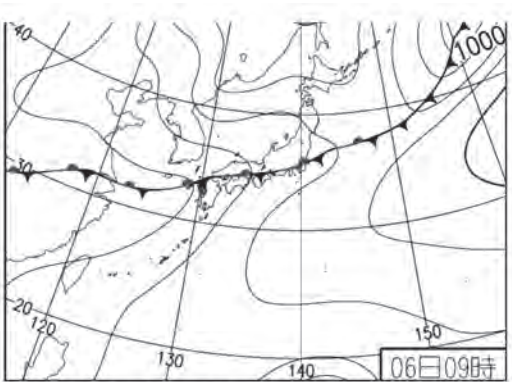
問 政府の概算要求基準やその基本方針、また各省庁からの概算要求資料と、来年度の予算編成との関係性や活用性について伺います。

答 国の基本方針や各省庁の概算要求は、来年度予算に向けての概略を捉える参考資料としています。

豪雨被害と被害軽減対策や防災事業について、国や県の施策や仕組みの活かし方を伺います。

問 豪雨災害を例にとり、道路冠水や浸水の実態と避難行動の現状を中心に、減災対策や防災事業について、国や県の施策や仕組みの活かし方を伺います。

答 国の防災安全交付金や県の今回の豪雨災害に関する支援制度の創設等の国への要望などの動向を注視し、活用したいと考えています。



7月6日(金)西日本に大雨特別警報

陳情・請願・意見書

意見書・陳情名 意見書・陳情提出者名	要 旨	●付託委員会 ○委員会の討論等 【委員会の結果】	【本会議 の結果】
市営アパートへのLP ガス納入価格の適正 化を求める陳情 大竹市御園二丁目 3番3-203号 宮本邦生 ほか78名	1. 既存の市営アパートについて、速やかにガス業者の公募を行い、ガス価格の適正化を図ってください。 2. 現在のルールでは、共同住宅である市営アパート入居者各々には事実上ガス業者選択の自由がありません。つきましては、市営アパートにおいてガス料金の適正化を担保するために、一定期間毎に業者の再公募等のルールを作ってください。	○生活環境委員会 ●「入居者全体として意見を述べれば業者を変えることができることや、行政から行動を起こすことが困難であることから、不採択」 「入居者の判断で業者を変えられる仕組みがあることを周知していただければ、あとは入居者の判断となることから、不採択」 【不採択】	【不採択】
「生涯現役社会を実現する」 シルバー人材センターの決 意と支援の陳情 公益社団法人 大竹市シルバー人材センター 理事長 松崎和生	これからも、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するとともに、地域社会の維持・発展と就業意欲の高い高齢者の受け皿として役割を果たす所存であり、引き続きのご支援をお願いしたい。 1. 平成31年度における国が措置する補助金と同額の財政支援 2. 大竹市からの事業発注の確保	○生活環境委員会 ●「事業内容が不明である。事業内容が確定しておらず、判断しかねる。事業内容が確認できてからの審議としてはどうか」 【継続審査】	【継続審査】
地方財政の充実・強化を求 める意見書採択について 大竹市職員労働組合 執行委員長 椋原研介	財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかである。 については、地方財政の充実・強化に向けて、意見書を政府に送付してほしい。	○総務文教委員会 ●「地方交付税の確保や一般財源の安定的確保は、安心・安全なまちづくりの必須条件であり、そのような観点から採択すべき」 【採択】	【採択】
少人数学級の推進などの定 数改善、義務教育費国庫負 担制度2分の1復元に係る 意見書採択について 連合広島大竹・廿日市地域協議会 議長 小玉健次郎 広島県教職員組合大竹廿日市区 支区委員長 平野克博	一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要となっており、計画的な定数改善が必要である。 子どもたちが、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であるが、教育条件格差も生じている。 については、少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に向けて、意見書を政府に送付してほしい。	○総務文教委員会 ●「豊かな教育環境を整備するために予算措置を要望するための請願であり、少人数学級の移行や健全な教育行政を目指す上で、採択すべき」 【採択】	【採択】

平成30年陳情第1号 市営アパートへのLPガス納入価格の適正化を求める陳情

《本会議での質疑》

【質疑】問「入居者がガス業者を選択できるということだが、技術的なことを含めて事実上無理であると分かっているのに選択権は入居者にあると言えるものなのか」

答「民と民との契約について、公である市が介入することはなじまない。また、入居者の総意によって業者と交渉でき、業者も市民に説明する責務があることは、国から通達がきている。市民に許される権限をしっかりと使って、改善に向けて動いていただきたい」

《本会議での討論》

【賛成討論】「市営アパートへのLPガス納入業者は、当初は執行部で決めている。施設は市のものであり、業者も市の判断で決めたのだから、市・入居者・業者の3者で協議をして、不満解決の糸口を探すべきと考える」

平成30年請願第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

《本会議での討論》

【賛成討論】「地方交付税の確保や一般財源の安定的確保は、安心・安全なまちづくりの必須条件であり、採択すべきである」

平成30年請願第2号 少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択について

《本会議での討論》

【賛成討論】「計画的定数改善がはかられ、豊かな教育環境を整備するための予算措置を要望するための請願であり、少人数学級の移行や健全な教育行政を目指すうえで、趣旨は理解できるため、採択すべきである」

意見書（抜粋）

平成 31 年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
4. 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。また、平成 27 年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、地方偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
6. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。
同時に、地方交付税原資の確保については、臨時財政対策債に過度に依存しないものとし、対象国税 4 税（所得税・法人税・酒税・消費税）に対する法定率の引き上げを行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 30 年 9 月 19 日

大 竹 市 議 会

（提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣

意見書（抜粋）

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があります。

よって、政府におかれましては平成 31 年度の予算編成に当たり、次の事項について実施されますよう要望します。

記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD 諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30 人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を 2 分の 1 に還元すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 30 年 9 月 19 日

大 竹 市 議 会

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

平成 30 年決議案第 1 号 岩国基地に隣接した大竹市に対する財政支援措置等の要望書

【要旨】 時限立法である再編交付金が平成 33 年度で終了する見込みであることから、平成 34 年度以降の財政措置について新たな交付金制度の創設等を含めて国に要望するため、基地周辺対策特別委員会において要望書を作成し、提出しようとするもの。

〈本会議での質疑〉

問「特別委員会では要望書の案を意思決定し、9 月定例会に上程できるよう手順を踏んでいたが、要望書について文案を変更せざるを得ないため、対応を協議したいと、複数の議員に電話で確認をしたのか」

答「電話で確認をした」

〈本会議での討論〉

【反対討論】 「8 月の基地周辺対策特別委員会で、委員会の意思として要望内容を確認したが、急遽、文面を変更することとなった。お金より安全安心が第一だというのが、多くの市民の本当の意味であると信じている。要望することは地方議会の権限として認められていることであり、上部機関の意思に沿うように文面を変更することには反対である」

岩国基地に隣接した大竹市に対する財政支援措置等の要望（抜粋）

在日米軍等再編計画による厚木基地の空母艦載機の移転が今年 3 月末に終了し、米軍岩国基地への航空機移駐が全て完了しました。この再編計画について大竹市では早い段階から国の安全保障政策に対し、外交・国防政策を尊重して今日までこれに協力し、市民に理解を求めることに努めてきました。

特に平成 22 年滑走路の沖合移設完了により、基地が 1 km 近づいた阿多田島（別紙位置図参照）においては再編以前から航空機騒音が増大し、生活環境の悪化や養殖漁業への影響が懸念されていました。

こうした中、再編計画に伴う騒音予測で数値の増加は想定されていたものの、空母艦載機移駐完了後の本年 4 月以降は、想定を超えた騒音（別紙騒音測定表参照）の実態に住民からも反発の声が高まっています。

平成 19 年度より再編負担の程度に応じ交付して頂いております米軍再編交付金は、市行政推進に大きく寄与し、その役割と成果は負担に見合うものと市民から一定の評価を得られているものと受け止めています。

しかしながら、この再編交付金は時限立法のため平成 33 年度で終了する見込みであり、その後、これに代わる交付金制度は確定していません。

今後も米軍基地が存続し、周辺地域住民への騒音被害や安全面等、生活環境への負担が続く限り、これに見合う財政支援措置が必要であり、国の対応に全市民が注目しています。

したがって、今後も国との信頼関係を継続するためにも、再編交付金が終了した場合、平成 34 年度以降の財政支援措置について新たな交付金制度の創設等を含めて実現して頂けますよう強く要望いたします。

また、騒音対策として航空機離陸後、出来るだけ阿多田島上空を避け、高度を上げて住宅地から最大の離隔距離をとるなど、騒音低減を図るよう合わせて要望いたします。

平成 30 年 9 月 19 日

大 竹 市 議 会

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、防衛大臣

本 会 議	特 別 委 員 会	常 任 委 員 会	〃 (予 備 日)	本 会 議
12 月 18 日 (火)	12 月 10 日 (月)	12 月 7 日 (金)	12 月 5 日 (水)	12 月 4 日 (火)

12 月議会日程（予定）

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議を行います。

議会がどのように運営されているか、本会議、委員会を傍聴してみませんか。

議云を

傍聴しませんか



第4回市議会(定例会) 議案の審議結果表 (主な議案)

	議案など	児玉	小田上	末広	賀屋	北地	西村	和田	大井	網谷	藤井	山崎	細川	寺岡	田中	山本	審議結果	
		朋也	尚典	和基	幸治	範久	一啓	芳弘	涉	孝馨	年一	雅子	公章	実穂	孝三			
議案第49号	大竹市が設置する子育て支援センターの指定管理者に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	宮島競艇施行組合規約の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	平成30年度大竹市一般会計補正予算(第2号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	工事施行協定の締結について (大竹駅構内青木踏切改良工事)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年 決議案第1号	岩国基地に隣接した大竹市に対する財政支援措置等の要望書	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	採 択

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長 ○: 賛成 ●: 反対

議会日誌

7月~10月

- 7月25日 小瀬川総合整備促進協議会・
- ~26日 国道186号整備促進協議会 東京要望
- 27日 議会改革調査会
- 8月7日 基地周辺対策特別委員会
議員全員協議会
- 10日 議会改革調査会
- 22日 岩国大竹道路建設促進期成同盟会
東京要望
- 23日 総務文教委員政策研究会
生活環境委員政策研究会
- 27日 議会改革調査会
- 30日 議会運営委員会
- 9月6日 議会運営委員会
本会議
- 7日 本会議
議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 10日 総務文教委員会

- 11日 生活環境委員会
- 12日 議会運営委員会
基地周辺対策特別委員会
議会改革調査会
- 19日 議会運営委員会
本会議
生活環境委員会
決算特別委員会
- 26日 決算特別委員会
議会改革調査会
- 27日~28日 基地周辺対策特別委員会 東京要望
- 10月2日 決算特別委員会
- 5日 広報広聴特別委員会
- 9日 広島県市議会議長会臨時会(庄原市)
- 10日~12日 決算特別委員会
- 15日 決算特別委員会
広報広聴特別委員会
委員会中継研究会
- 19日 議会改革調査会
生活環境委員政策研究会
総務文教委員政策研究会

議会報告会を開催しました



平成30年7月10日、12日、14日の3日間、市内9会場(サントピア大竹・エスポワールおおたけ・小方ヶ丘集会所・総合市民会館・おがたピア・玖波公民館・農林振興センター(栗ヶ台)・木野集会所・松ヶ原集会所)で、平成30年議会報告会を開催しました。のべ80人の方にお越しいただき、議員からの議会報告の後、議会に関する様々なご意見、ご感想等をいただきました。

各会場の報告書とアンケートは、市(市議会)のホームページに掲載しています。

報告会の内容

- 議会報告
 - ・平成30年度予算審査報告
 - ・6月定例会議案審査報告
 - ・基地周辺対策特別委員会報告
 - ・議会改革調査会報告
 - ・質疑応答
- 意見交換



報告に関する 主な質疑

Q 市民の声を聴く役割の議員定数が削減された場合、機能低下にならないか。
 予算が問題であれば、議員報酬を減額すべき。
 考えを問う。

A 議長より議員定数検討の諮問があり、今後ふさわしい議員定数は何人であるかを考察し検討してきた結果、現状の16人が妥当との結論を得た。
 また、様々なテーマで、議会改革も同時並行に推し進めている。

Q 大竹中学校のプール撤去についての考えを伺う。

A 執行部より、大竹小学校のプール施設の老朽化が進んでいるため、小中合同のプール建設の可能性についても検討が必要と考えている、との回答を得ている。

意見交換での ご意見等

Q 廿日市市との可燃ごみの広域処理事業について。廿日市市とはごみの出し方が違う。大竹市はもやすごみとトレイ、プラスチックは「分別」しているが廿日市市は一緒だ。処理費用についても体積なのか重量なのか、市民に分かりやすく説明を。

A 処理費用は持ち込む重量による。ごみの量で処理費が決まるので、ごみの減量化に市民を挙げて取り組んでいただきたい。

Q 降雨時など防災行政無線の音が聞こえづらいので、スピーカーの音量を上げるか、各家庭に個別受信機を備えられないのか。

A 聞き取れなかった場合には、フリーダイヤルからの確認方法もあるので、有効に使っていただきたい。隣接する家などの兼ね合いで、音量を上げることは難しい。

Q 災害対策本部設置時に議員の行動の決まりがあるのか。

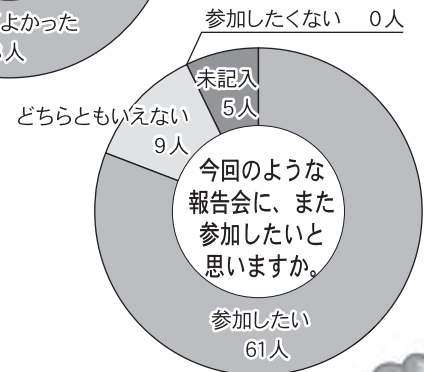
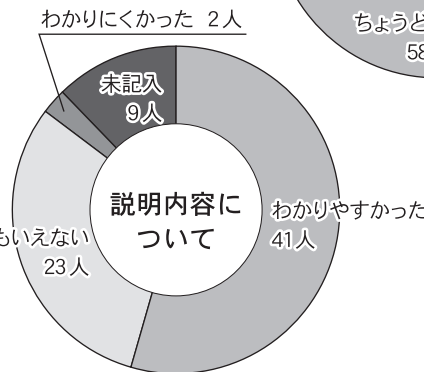
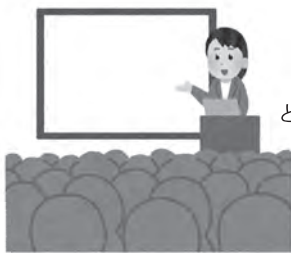
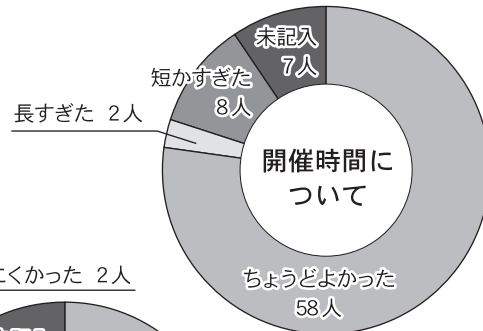
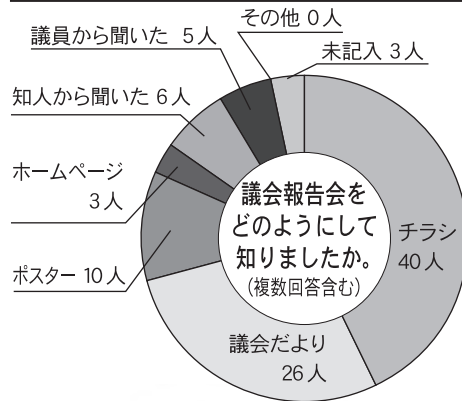
A 基本的には、各議員がそれぞれに地域の一人として可能な活動をするように決めている。



防災行政無線テレホンサービス
0120-590-131

アンケート結果

(回収数 75 枚)



● ご意見・ご感想 (抜粋) ●

- ・参加者が少ないのは議会・議員活動が市民に行き渡っていないのだと思う。もっと宣伝を願う。
- ・参加人員が少ない。事前の案内が必要だと思う。
- ・手話に力を入れてほしい。
- ・質問に対する回答がわかりやすかった。
- ・議会報告会を今後も行って欲しい。
- ・もっと宣伝して、参加者が増えるようにして欲しい。
- ・説明会の後、三つ位の分科会に分かれて意見交換をした方が意見が出しやすい。
- ・疑問点について丁寧な返答で良く分かりました。
- ・活発な意見を聞いて参考になりました。
- ・大竹市当面の課題を知るには市広報並びに議会だよりである程度の事は認識できるが、資料を見ながら熱のこもった質疑応答は大変良かった。
- ・パーフェクトとは言えないが良く検討されている。
- ・今後も市民の意見を聞いて議員活動につなげて下さい。



まとめ：「キャリアスタートウィーク」 玖波中2年 北林佑唯さん、中西晶哉さん

議会報告会の目的は、大竹市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さまのご意見やお考えを把握し、今後の議会活動や市政運営に反映させるためのものです。



市民の皆さまからいただいた貴重な生の声は、議会に対する意見・要望については議会内で検討し、その他は執行部に報告させていただきます。

今後も、皆さまのご意見を生かし、より良い報告会、意見を聴く会にしてまいります。



第22回 スマイル インタビュー



どのような活動をしていますか？

2か月に一度、県が指定した道路の清掃と道路脇の草刈り作業が活動の中心です。県の制度を活用して、平成12年からこれまで続けています。

活動のやりがいとは？

作業の後はキレイさが全然違って気持ちが良い。キレイな場所にはポイ捨てもしにくいのか、始めた頃よりゴミも随分と減りました。みんななどのお喋りも楽しみです。



明るい社会づくり運動大竹市協議会のメンバーの皆さん

ご苦労もあると思いますか？

年配の会員が多いので、溝に溜まった落ち葉や泥をかき上げるのがひと苦労です。交通量が多い道路ですの
 で、目立つように夏も蛍光オレンジのジャンパーを着ています。



清掃の様子

作業以外の活動もあるそうですが？

冬には心や身体が喜ぶ「健康いきがい教室」を開きます。去年のスコップ三味線演奏会ほか、これまで体操教室や寄席を開きました。また、2年に一度の親睦バス旅行はみんな楽しみにしています。

読者に一言！

無理をせず、みんなで楽しみながら息の長い活動にしたい。一緒に活動してください。方々グループさん大歓迎です！

あとがき

30年続いた平成も、残り少なくなりました。

今夏は7月6日から7日にかけて西日本豪雨に伴う土砂災害で多くの犠牲者、家屋の流出、道路の陥没、床上浸水など甚大な被害が起きました。その後の猛暑と続き、大変な夏だったと思います。

本市では、幸いにも犠牲となった方はいませんでしたが、床下浸水、道路の陥没、土砂崩れなど、かなりの被害が出ています。

9月議会で総額5億3千67万円の補正予算を組み、そのうち農地、林道、道路橋りょう、河川などに復旧費をつけ、1日も早い復旧に努めています。



我々広報広聴特別委員7名も、市民のみならず大竹市政の流れが詳しくお分かりいただけるよう、情報を共有しながら、分かりやすい市議会だよりを作っていきたいと思えます。



広報広聴特別委員

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 寺岡公章 |
| 副委員長 | 末広和基 |
| | 北地範久 |
| | 西村一啓 |
| | 和田芳弘 |
| | 大井芳涉 |
| | 網谷芳孝 |

発行・平成30年11月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方二丁目11-1

TEL 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。